

学校アンケートの考察

1. はじめに

本校では、「めざす子ども像」として、『自ら考え行動する子ども』（よく考える子、なかのよい子、たくましい子）を目標として掲げています。この目標を達成するために全教職員が全力で取り組みを進めています。

2. アンケート結果から

- 子どもアンケートからは、昨年度と比べてプラス評価が増加している設問については、
「友だちや先生の話をよく聞いている」
「学校の勉強がよくわかる」

があります。ただ、変化があまりなくてもマイナス評価の比率が高い設問は、以下の通りです。

- 「元気よくあいさつをしている」
「休み時間は外でよく遊んでいる」
「校舎内では、走らずに静かに歩くように気をつけている」
 - 保護者アンケートからは、昨年度と比べてプラス評価が増えている設問については、
「子どもは、学校の学習がよくわかっている」
「学校は、学校の施設や設備・環境は整備されている」
「子どもは、集団生活のマナーやルールが身に付いている」
- 地域アンケートからも、この二つの設問については、マイナス評価の比率が高かったです。

3. 今年度の取り組み

学習面については、教職員全員で研修を深め、わかる授業を目指しました。授業を工夫して、子どもたちが主体的に学べるように努めました。

学習環境を整えました。教室の整理整頓に努めるとともに、学習意欲が高まるような掲示物を用意して授業に使いました。人の話を聞く態度については、授業の中だけでなく学年行事や学校行事でも指導をしました。基礎基本の力の習得には、「話をよく聞く」という態度が欠かせません。

生活面では、「あいさつ」を重点目標として、登校時・朝会・学級指導など様々な機会

を通して呼びかけています。児童会・生活委員会もあいさつ運動を行い、校内だけにとどまらず、地域のみなさんにも進んであいさつをしていこうと取り組んでいます。

また、交友関係のトラブルでは、子ども一人ひとりの思いを受け止め、いじめなどに発展しないように指導しました。早期に問題を解決して、楽しく過ごせる学校を目指しました。思いやりの気持ちをもてるよう、ご家庭とも連携しながら、しっかりと取り組んでいきます。

学校行事では、ファミリー活動を通して北陵小学校の特色ある教育活動が行われています。縦割り集団での活動は、学年を超えた子どもたちのつながりを作り育てます。ウォークラリー、毎月のファミリー遊びから、子どもたちの成長を感じました。今後も子どもたち同士をつなぐ努力を続けていきます。

学校の施設・設備面については、本年度は図書室としての教室が確保できました。また、図書ボランティアの方々の読み聞かせの活動も行っていただきました。子どもたちが本に親しめる機会を増やす取り組みを保護者の皆様と協力して進めました。

保護者アンケートの設問にある「学校の施設や設備・環境は整備されている」はマイナス評価の比率が高いです。今後も校内で改善できる点については努力していきます。学校だけでは対応できない施設や設備面につきましては、引き続き関係各所に要望していきます。

安全面では、今年度も下校指導や火災・地震等様々な場面を想定した防災訓練を三回行ってきました。不審者対応訓練も青少年センター・警察の指導を受けて実施しました。

また、校内では子どもたちが安全を意識して生活できるように、生活委員会が生活目標について強化月間を設け、取り組んできました。しかし、校舎内を走らない等、安全に気をつけた行動がとれていない子どもたちが多数います。引き続き、子どもたちが安全な学校生活を送れるように指導を続けていきます。

4. おわりに

今後も、保護者・地域の皆様との連絡を密にし、学校・保護者・地域が一体となって子どもたちの育成にあたっていけるよう努力を続けてまいります。同時に、子どもたちや保護者・地域の皆様が気軽に相談できる関係づくりにも努めていきたいと考えております。

お気づきの点がありましたら、いつでもお知らせください。これからも、よろしくお願い致します。